

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



多様な価値観に触れた2年間

北海道総合政策部国際局国際課国際交流室 主任 鈴木 基大

私は2015年9月16日から約半年間、東京本部交流親善課で勤務した後、2016年4月から2年間シドニー事務所勤務しました。シドニーでは後述の事業を通じてオーストラリアにおける行政の考え方や価値観を学ぶ機会がありました。

生活面では、海外生活が初めての私と家族にとって、シドニーでの2年間は、大変なことも沢山ありましたが、事務所員やそのご家族をはじめ、多くの方々を支えられ、充実したものでした。

多様な考え方を学ぶ

シドニー事務所では、1年目にJETプログラムと現地自治体職員向けセミナー、2年目は日本自治体の海外活動支援と多文化共生施策の研究を担当しました。

自治体職員向けセミナーは、オーストラリアの地方部ジュニーで開催し、日豪双方の高齢化や人口減少の問題について現地の自治体幹部と議論する機会がありました。



オーストラリア地方部で開催したセミナーで周辺自治体幹部とのグループディスカッション

全豪自治体協会総会や各州自治体協会総会にブース出展をし、日本の行政制度等を現地の行政関係者に説明することで、現地の考え方を知ると共に、日本の行政制度について、改めて考える良い機会となりました。

また、全国民の25%が移民により構成されている

オーストラリアの多文化社会について、日本の自治体職員向けの視察研修を企画・運営し、事後調査を行うことにより、多様性を受容する社会のブース出展で日本の行政制度を説明会を作るための行政の重要性を学ぶことができたのは貴重な経験です。



ニューサウスウェールズ州自治体協会総会のブース出展で日本の行政制度を説明会を作るための行政の重要性を学ぶことができたのは貴重な経験です。

いずれの事業でも現地の関係者と直接やり取りを行うことで事業を実施する必要があったため、現地行政機関だけでなくさまざまな方々との人脈を築くことができました。

クレアでの経験を生かして

帰国後は、約1年間、予算や北朝鮮による拉致問題の啓発活動に携わりましたが、2019年6月からJETプログラム、欧州との国際交流の業務を担当しています。

今年度から全国で設置されている多文化共生総合相談窓口の予算要求では、前述の多文化共生施策調査の経験を活かすことができましたし、JETプログラムや外国人の表敬訪問対応でもクレアでの経験が活かしています。今後は国際関係業務だけでなく、さまざまな分野において2年間で学んだ多様な価値観や築いた人脈を活かしていきたいです。

プロフィール

- 現職：北海道総合政策部国際局国際課国際交流室 主任
- 業務内容：JETプログラム、欧州との国際交流、国際交流に関する広報
- クレア時代の所属：
2015年9月～ 東京本部交流支援部交流親善課 主査
2016年4月～ クレアシドニー事務所 所長補佐